

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 坂本 圭司
〒520-0113大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：t-press@tendai.or.jp

令和7(2025)年9月1日月曜日
(毎月1日発行) 1部80円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



「比叡山宗教サミット38周年 世界平和祈りの集い」

対話と祈りで平和な世へ

国内外の諸宗教代表者らが一堂に会して世界平和を祈る比叡山宗教サミット38周年「世界平和祈りの集い」が8月4日、比叡山上で開催された。戦後80年を迎えたのを機に、昨年ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の田中照巳代表委員を講師に招き、平和の大切さを考える機会を共有。約450名が対話と祈りを通じた平和活動に献身することを誓い合った。

1987年から開かれてきた比叡山宗教サミット「世界平和祈りの集い」が2年後に40周年の節目を迎える。35周年記念からは祈りの意義と精神を継承することを目的に、特に次世代を担う若年宗教者らへ参画を呼びかけている。また、厳しい暑さに配慮し一昨年から屋内と屋外の2部制に移行している。

和の祈り」が15時20分から始まった。次世代を担う宗教者を代表し、神社神道の戸内結律子さん、仏教代表で天台寺門宗の犬山空翼さんが初回に発表された『比叡山メッセージ』を朗読し、継承されてきた平和への精神を会場で再確認した。

そして藤光賢天台座主親下ら10名の教宗派代表者らが登壇。天台仏教青年連盟の甲斐健盛代表ら3名が鐘打する『世界平和の鐘』に合わせて会場全員が黙祷し、世界平和への祈りを捧げた。主催者を代表して挨拶された藤天台座主親下は「あらゆる兵器や暴力のない、慈愛に満ちた社会の実現に邁進します」と述べられ、戦後80年の誓いとされた。

また世界仏教徒連盟のパロップ・タイアリー会長、ローマ教皇庁諸宗教対話省のジョージ・ジェイコブ・クーバカド長官から平和メッセージが寄せられた。

この日の模様は動画サイトYouTubeで配信され、天台宗公式サイトからアーカイブ動画が視聴できる。

詳細は「天台宗公式ホームページ」
<https://www.tendai.or.jp>
特設サイトへはこちらから▶



極微

動画配信サイトやSNSには、飛行機の搭乗体験や世界中の美しい景色や街並み、おいしいような料理を紹介する番組が溢れている。家にいながら旅の気分が味わえる時代になった。中でも街歩き動画は、その土地の雰囲気やより深く感じることができ、以前、海外旅行先のホテルで、たまたま横に座っていた夫婦に、日本では電車やバスなど公共の場で静かに過ごす理由を聞かれたことがある。駅でも、整列して電車を待つ規律正しい行動に驚いた。少し考えてから「思いやりの文化だろ」と答えると「素敵な国ですね」と言ってくれた。少し誇らしかった▼インバウンドで沸く日本の訪日外国人人数が今年度上半期で過去最速の2千万人を突破した。京都市に限れば、人口より多い1千万人以上が訪れている。ただ定番観光地への集中が続いており、マナー違反を問題視する声を聞かない日はない。修学旅行もあまりの混雑ぶりに京都から行き先を変更する学校もあると聞いた。残念でならない。スマートフォンで気軽に動画が視聴できる時代。ルールやマナーを学習することが可能だけに、郷に入っては郷に従え、訪日の際には少しでも学んでほしいと願う▼訪日旅行者に道を尋ねられる時がある。そんな時は拙い英語だが、丁寧に伝えるよう心がけている。日本らしい思いやりの気持ちを持って接すれば相手も心を開いてくれると信じている。